志布志市立潤ケ野小学校　令和8年6月号

としょかんだより6月号

雨の日に読みたい本は？

じめじめとした季節がやってきました。雨が降って外で遊べないときは、図書館でゆっくり過ごしませんか？「晴耕雨読」という言葉があります。意味は、“晴れた日には田畑を耕し、雨の日は家で読書をすること”です。みなさんも、雨の日は本を読んで楽しくすごしましょう！

−6月読書目標−
・好きな本を読もう。

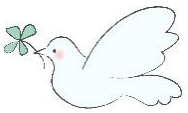
カエルが鳴くと雨がふる・・・　本当かな？

お天気のことわざに「カエルが鳴くと雨がふる」があります。このことわざに出てくるカエルとは、アマガエルのことです。ニホンアマガエルは、雨が降る前に「ケッケッケッケ」と鳴くことがあります。気圧に反応して、雨を知らせるように鳴くことから名前が付けられました。

♪かえるのうたが～　きこえてくるよ～♪

ほとんどのカエルはオスだけが鳴きます。メスを大きな声で呼ぶためです。アマガエルは、みんなが一緒に鳴くと自分の声にメスが気付いてくれないのでわざと少しずらして鳴いているそうです。歌のように輪唱しているんですね。

ここで1つ注意！ ニホンアマガエルの皮膚から出る粘液には、弱い毒があります。触ったあとは目・鼻・口にさわらないようにして、必ず手を洗いましょう。



忘れないでほしい 6月の日　～鹿児島大空襲と沖縄慰霊の日～

6月には、戦争と平和について考える大切な日があります。

6月17日は「鹿児島大空襲」の日です。1945年のこの日、たくさんの飛行機が鹿児島市に爆弾を落とし、町が大きな被害を受けました。多くの人が命をなくし、家や大切なものを失いました。

また、6月23日は「沖縄慰霊の日」です。沖縄では、日本で唯一、住んでいる人たちを巻き込んだ大きな地上戦が行われました。子どもたちを含むたくさんの人が犠牲になりました。

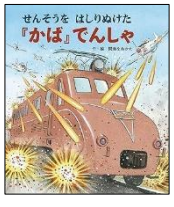
戦争は、命だけでなく、家族と過ごす楽しい時間や、安心して暮らせる毎日も奪ってしまいます。

今、世界には戦争や争いが続いている国や地域があります。学校へ行けなかったり、家を離れたりしている子どもたちもいます。遠い国のできごとに思えるかもしれませんが、平和がどれほど大切なものかを考えるきっかけになります。

みなさんが学校で勉強したり、友達と遊んだり、本を読んだりできるのは、平和な毎日があるからです。当たり前に思える毎日も、実はとても大切なものです。

図書館には、戦争を体験した人の話や、平和への願いがこめられた本があります。

この機会にぜひ本を手に取り、平和について考えてみませんか。



がんがらちゃんの日
7月1日（水）